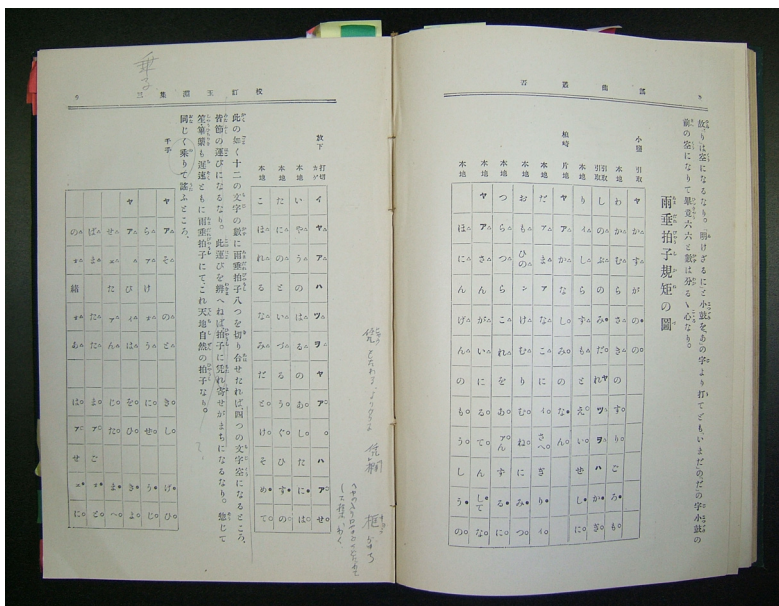
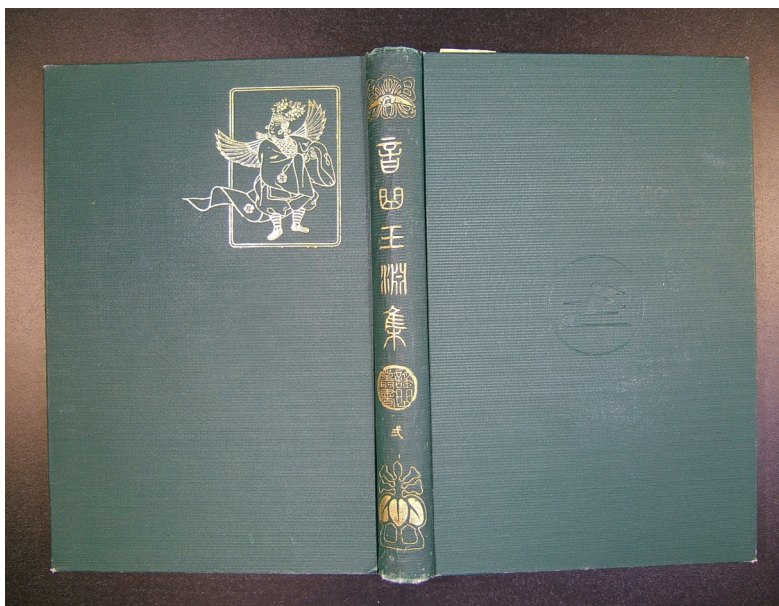


時中翁庚爰 『音曲玉淵集』

玉淵集は全五冊であるが、その内、第三冊は、拍子についての記事をならべた冊である。写真にあげた「兩垂拍子規矩の図」は、升目を縦に十二並べているが、それは、拍子を示しているのではなく、升目の一つ一つには謡の文字一つずつが入っている。拍子は、その横に添えられた三角印や丸印で示されている。そこから当たりが近古式であるとわかる。ただし、第八拍目は息継の間ではなく、句末の文字が当たる拍となっている。地拍子の古態を示す現象として注意すべきだろう。



標題 内題…音曲玉淵集

標題紙…謡曲叢書第二編 音曲玉淵集

奥附…

その他…音曲玉淵集(目次・背)

著者 奥附…

その他の場所…時中翁庚爰(巻頭)

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…観世流改訂本刊行会

出版年…大正1(1912)

その他の場所…序 大正1(1912)

形態 冊数…一冊 頁数…五六頁十四六頁

十四八頁十五四頁十七〇頁

寸法…22×16(cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 丸岡桂校訂(奥附)、今村義福述(巻頭)。

大正元(一九一二年)丸岡桂序。寛保三年刊のものを翻刻校合。